

## 新アドバイザー就任あいさつ

鈴子 勝也

2024 年 4 月から、きしわだ自然資料館のアドバイザーになりました、鈴子勝也（すずこかつや）と申します（図 1）。きしわだ自然資料館では、1 階で飼育している淡水や海水に生息する魚類や甲殻類、自然資料館の人気コーナー「大阪湾のウミウシ水槽」、水生昆虫など、生体展示の管理を中心に、図書や昆虫・魚類標本などの整理、岸和田のため池や川に生息するトンゴをはじめとする生物の調査、学校での出前授業、屋内外での行事の対応などを行っています。

生体展示の管理では、水槽の掃除だけではなく、濾過装置のモーターや照明などの電気機器の動作確認をしているほか、壊れている場合は部品を修理し、長く安全に利用できるようにつとめています。また、飼育している生物の体に異常がないかをチェックすることで、病気の蔓延を未然に防ぐことを心がけ、利用者の方が水槽を見て楽しんでもらえるよう、頑張っていこうと思います。

きしわだ自然資料館には、地域の人から資料や標本の提供がひんばんにあるので、そうした多分野の資料や標本を扱いやすいように整理作業を行いながら、研究などに利用しやすい資料にするにはどうすればよいかを考えていきたいと思っています。

私は、岸和田市の隣、貝塚市にある貝塚市立自然遊学館にも勤務しています。ここは海水浴や潮干狩りで知られる二色浜の近くにある自然の博物館で、同じように生物の飼育や生態調査、標本・資料整理、利用者の対応などを担当しています。

貝塚市立自然遊学館はおともも入館無料なので、こちらへもぜひお越しください。また、なにか知りたいことなどがありましたら、きしわだ自然資料館にいるときと同様、気軽にお



図 1. 鈴子勝也近影・二色浜で発見されたスナメリとともに

声がけください。

現在は鳥類やトンボを中心に、いろいろ勉強しながら調査研究を行っています。

鳥類では、貝塚市の近木川や二色の浜で、種と個体数を定期的に記録しています。トンボについては、最近できていないのですが、ウスバキトンボという南方から日本へ飛来するトンボが、どこまで広がっているかを明らかにするため、翅にマーキングをする調査を行っています（図2）。



図2. ウスバキトンボ

利用者や団体見学に来られる方とコミュニケーションをとることで、知りたい

ことや聞きたいことに対応できる学習の場として、きしわだ自然資料館を利用してもらえよう、アドバイザーとして、勤めて行きたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

(すずこかつや・自然資料館アドバイザー)

### 自然資料館アドバイザーとは

きしわだ自然資料館での団体見学対応や学芸的な事業全般に対する指導助言、サポート等を行うため、開館した1995年から設置されています。現在、7名のアドバイザーが、それぞれの専門分野について活動しています。令和6年度から、新アドバイザーが3名誕生したので、これから1名ずつ紹介していきます。各アドバイザーとも学芸員同様、それぞれの専門分野で市内外の学校への出前授業や団体見学、質問の対応などを行いますので、どうぞお気軽にご利用ください。

## 天王寺動物園で平和教育

### 「戦時中の動物園展 ～忘れない、繰り返さない、目を背けない～」

市川 晴子

天王寺動物園では毎年、終戦記念日のある8月に「戦時中の動物園展」を開催しています（図1）。この企画展は、戦争について考える機会の少ない来園者に、戦争の悲惨さや平和の尊さを理解してもらい、戦争の教訓を未来に活かすための場となることを目指しており、今年「戦時中の動物園展～忘れない、繰り返さない、目を背けない～」と題し、8月3日（土）から9月1日（日）までの約1か月間、園内TENNOJI ZOO MUSEUMにて開催します。

天王寺動物園では第二次世界大戦中、エサや燃料の不足のためにゾウやキリンが亡くなっただけでなく、もし空襲で、檻が壊されて猛獣たちが脱走するようなことになれば大混乱になるからと、ライオンやヒョウなど10種26頭の「猛獣」が殺処分されました。

本企画展では、戦時下の天王寺動物園で起きた出来事を時系列で紹介し、実際に殺処分された動物たちの剥製を展示します（図2）。加えて、戦争中の天王寺動物園を題材としたアニメーション「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」の上映や、戦争・平和に関連する絵本を展示し、幅広い世代の方に戦争や平和について考える機会を提供します。

◆イベント「平和紙芝居の公演」（青空みかん氏）

8月17日（土）、8月18日（日）各日 17:00～17:45

また、当園の「ズー・スクール（動物園スタッフによる講話）」のプログラムにも、「戦時中の動物園」や、小学校低学年向けの紙芝居「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」があります。動物園における教育は環境教育が主ですが、来年、開園110周年を迎える長い歴史があり、第二次世界大戦も経験した天王寺動物園では、このような平和教育にも力を入れているのです。

※詳しくは、天王寺動物園 飼育展示課（教育普及担当・TEL:06-6771-2151）までお問い合わせください。

（いちかわはるこ・独立行政法人天王寺動物園獣医師）



図1. 「戦時中の動物園」ポスター



図2. 戦時中に殺処分された動物たちの剥製・今回の企画展でもごらんいただけます

## Information

### ●自然資料館の主催行事

#### 『夏のきしわだ恐竜教室・子どもの部』(8月25日)

毎年恒例の「きしわだ恐竜教室」を開催します。大阪公立大学の方から最新の恐竜研究のお話を聞いたあと、プロの造形作家の指導で恐竜の復元画を描いたり、フィギュアへの塗装を楽しんだりしましょう。

日時：2024年8月25日(日)

午後1時30分～4時

会場：きしわだ自然資料館1階ホール

講師：徳川広和氏(自然資料館専門員・古生物造形作家)、大阪公立大学恐竜サークル「ジェラシックパー君」のみなさんほか

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で・幼児同伴不可)

定員：20人

費用：500円(材料費)

申込：8月1日～13日の間にメールにて「恐竜教室」係・公民館にて1才半から就学前児童むけの保育あり(事前申込要)

問い合わせ：きしわだ自然資料館

### ●生涯学習部連携企画(申込不要)

#### 『子どもと一緒にわくわく学びTime 第2回～子どもと過ごす夏!どんな絵本? &色水あそび』

岸和田城周辺には市立図書館、市立公民館、自然資料館など、多様な生涯学習施設があります。今年度は、これらの施設を担当する生涯学習部が共同で、就学前の子どもと保護者を対象とした催しを行なっています。第2回となる今回は、市立図書館(本館)でこの夏おすすめ絵本の紹介と読み聞かせ、そして自然資料館が図書館に出張し、図書館入口で色水遊びを行います。お気軽にお越しください。

日時：2024年8月25日(日)

午前11時～正午

会場：岸和田市立図書館本館(岸城町)

講師：岸和田市立図書館司書ほか

費用：無料

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や地誌に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

#### 連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5

きしわだ自然資料館

TEL:(072)423-8100

FAX:(072)423-8101

Email:sizen@city.kishiwada.osaka.jp

自然資料館ホームページ:

<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>

※お願い 「fromM」は、学校教職員みなさまに1部ずつお配りください。担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくご願い申し上げます。